



Chartered April 11, 1998
THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Keiko Kashihara 4-16-23-402 Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kashihara-k28@kxbiglobe.ne.jp Tel. 078-431-3511 〒658-0016 Japan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Henry J. Grindheim (ノルウェー)
 「ともに、光の中を歩もう」 "Let Us Walk in the Light-Together"
- アジア太平洋地域会長 Tung Ming Hsiao (台湾)
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
- 西日本区理事 大野 勉 (神戸ポートクラブ)
 2022年に向けて「心身の健康づくりからクラブの健康づくりへ」
 "Healthy mind & healthy body make healthy club"
- 六甲部部长 杉本隆人 (神戸学園都市クラブ)
 「共感しあい、支えあおう」
 Empathy each other, Root Y's & YMCA
- 芦屋クラブ会長 柏原佳子
 「賜物にしたがって」 "According to the gift"

- 会 長 柏原佳子
 直前会長 上野恭男
 副 会 長 桑野友子・堤 清
 書 記 上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 柳原謙介
 六甲部Yサ・ユース主査 上野恭男

8

Aug., 2017
 242号

Yサ・ユース事業をしっかりと！

Yサ・ユース事業主査 上野恭男
 六甲部Yサ・ユース事業主査を引き受けるにあたって、YMCAへの想いを新たに、芦屋クラブの皆さんと楽しいクラブ生活を進めてまいりたいと考えています。
 ワイズメンズクラブは、YMCAをサポートする目的を持ったサービスクラブです。地域への奉仕もしっかりとしながら、目はYMCAに向けています。
 神戸YMCA新館が竣工し、ワイズメンズクラブにも拠点が出来ました。絆を大切に、ユースの皆さんとのコミュニティを深めて行きたいものです。
 芦屋にはYMCAの施設がありませんが、YYフォーラムでのユースとのディスカッションを楽しみ、3月には恒例の留学生交流会でYMCA事業への支援を実感します。そして4月の芦屋さくらまつりの出店で、中高生のユースとの交わりがあります。
 芦屋クラブは自由な意思を持つメンバーで構成されており、社会生活を拘束されているのではありません。機会を見て、YMCAのチャペルに一度足を運んでみてください。ブランディングを考え、全国のYMCAのマークを統一するのも間もなくです。
 市民に受け入れられるYMCAを目指して事業もしっかりと進めていきたいものです。
 常に目を外に向け自由闊達な交流を楽しみ、目的であるYMCAへの支援を考えながら今年も歩いていきたいと思ひます。

今月の聖句

そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」

ルカ福音書 23:34

8月第1例会(西宮・芦屋合同納涼例会)

と き： 2017年8月16(水) 18:30~21:00

と ころ： ホテル竹園芦屋 飛鳥の間

司 会： 福原吉孝ワイズ(芦屋)、丸山悦治ワイズ(西宮)

1. 開会点鐘 石井恭子会長(西宮)
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 山口政紀ワイズ(西宮)
羽太英樹ワイズ(芦屋)
4. ゲスト紹介
5. 食前感謝 上野恭男Yサ主査
6. 乾杯 万本敬一交流主査
7. 会食・懇談
8. エンタテイメントタイム シャギーマウンテンボーイズ
「カントリーを楽しみましょう♪ よろしければダンスも♪」
9. 事務報告 石井恭子会長(西宮)
柏原佳子会長(芦屋)
- 各事業委員の報告 各クラブ事業委員
10. YMCA報告 藤田良祐連絡主事
11. ニコニコ献金報告 島田恒ワイズ(芦屋)
12. 誕生日祝い 石井恭子会長(西宮)
- 馬場一郎ワイズ
13. 閉会点鐘 柏原佳子会長

7月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手
メンバー	13名	出席者	13名	累計 gm
ビジター	3名	メイクアップ	名	
ゲスト	名	合計	13名	ニコニコ
メネット	1名	在籍者	18名	
コメント		(内広義会員1名)		7月 26,400円
合計	17名	出席率	76.5%	累計 26,400円

7月第1例会報告

日時：2017年7月19日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋

出席者：五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権甲植、篠坂幸彦、島田恒、菅原進、羽太英樹、福原吉孝、坂東幸子、中山豊美(各メン)、柳原謙介連絡主事、五十嵐かほるメネット

ビジター：杉本隆人六甲部部长、中村剛六甲部書記、田辺征一(神戸学園都市クラブ会長)

今年度最初の第1例会となりました。上野直前会長の開会点鐘とともに始まりました。羽太ワイズからの今月の聖句は、柏原新会長が掲げる「賜物に従って」という標語にもリンクする箇所からメッセージを頂きました。

続いての、役員交代式では、柏原会長・上野書記・羽太会計が今年度の役員として杉本隆人六甲部部長の司式のもとに委嘱され、新たな船出の時をもちました。少し緊張気味



の新会長からは、ブリテンの7月に掲載されている所信とともに、新たな出発としての意気込みを伺いました。権ワイズの食前感謝・会食懇談の時間のをもち、杉本六甲部長より公式訪問説話を頂きました。今年度の六甲部の主題として「共感しあい、支えあおう」を掲げ、YMCAと連携をしながら運営を行っていくこと。またワイズメンズクラブでも様々なタレントをもった方々がいる中で、その力を発揮し、一過性でなく継続性をもって進んでいこう。とのお話を頂きました。

続いてのメンバースピーチは、柏原会長のご息女様のフィギュアスケートのお話をいただきました。ご息女様は元フィギュアスケーターでオリンピックにも出場されている八木沼純子さんのジュニア時代のライバルとして世界を舞台に活躍されていた方で、先日のテレビ放送でも、会長のご家族とともに出演されており、懐かしい映像とともにご家族で支えられていたご苦勞や、競技者としての苦惱や喜びを感じることができました。



中山ワイズのお嬢さまも同時期に同じリンクでスケートをされており、「あーあのユッコちゃんだ！、とても感動した」と柏原会長と握手



スピーチの後は、6月第2例会議事録承認、事業報告、YMCA報告、誕生日のお祝い、そしてニコニコ献金報告が行われ、柏原会長により閉会点鐘が響き渡り、今年度最初の例会を締めくくりました。柳原謙介連絡主事

「2017-18年度 六甲部第一回評議会」

杉本隆人部長、中村 剛書記、藤井久子会計を中心とする新年度体制の始まる7月8日、新装なった神戸YMCAチャペルに於いて六甲部今年度第一回評議会が開催された。



新チャペルは2、3階吹き抜けの天上の高い四角い白基調のシンプルデザインである。正面の「エマオからの道」と題するステンドグラスが目を引き。中道基夫理事長の言葉から・・・「今、与えられた新しい会館は、そこからあたらしく生まれた希望の象徴です。YMCAは神戸にとって、また共に歩む人々にとって、希望の道「エマオからの道」となることを願っています。」

チャペルには芦屋クラブが10周年記念で贈呈した聖書棚もちゃんと設置されていた。今回の評議会には、芦屋クラブからは、柏原会長、上野直前会長ほか、桑野、篠坂、島田、坂東、各ワイズと羽太の7名が出席した。杉本六甲部長による開会点鐘で始まり、ワイズソング、開会祈禱、挨拶などオープニングセレモニーを経て、各年次報告が行われた。初めに長井直前部長が「高齢化と会員数の減少という現実の中で、『我々の足元を着実に』をテーマに新たな試みもみられるが、効果はすぐには表れないだろう。しかし自分たちにできることを継続実践していくことが必要だ」との所感を述べられた。続いて会計報告、部長方針・活動計画、新年度予算、各事業主査の方針・活動計画が示され、審議され承認された。さらに、各クラブ会長の方針・事業計画の発表があり了承され議事はすべて完了。羽太英樹



新しいチャペルでの評議会を終えて場所を三階の会議室に移し16時30分より【懇親会及び神戸YMCA感謝会】が開催された。まず六甲部監事・進藤啓介氏により【食前感謝祈禱】があり、続いて新六甲部長・杉本隆人氏の【挨拶と乾杯の音頭】により全員が声高らかにビールにて乾杯！そしてYMCAにて用意された美味しいケイタリングによる料理にて【会食・懇親会】に入る。各クラブが愉しく交流するワイズスプリットが見事に溢れるひとときが……。続いて総主事井上真二氏から【神戸YMCAより感謝の言葉】があり【三宮会館の歴史とこれから】【YMCAブランディング】等、新しい方向性について神戸YMCA担当者の方によって熱烈な発表がなされた。最後に六甲部各クラブから近況・催事の報告がアピールされ我が芦屋クラブも上野実行委員長共々、来る12月23日に計画されている【20周年&X'mas祝会】のアピールを芦屋クラブ当日出席者全員が案内チラシを両手に整列し盛大に……。

その後再度素晴らしいチャペルに戻り音響効果を十分に生かした【ハンドベル ミニコンサート】が用意されており11人編成のディンドンリンガーズにより懐かしいポップスが数曲演奏された。そしてYMCAの歌斉唱後六甲部会計藤井久子氏の閉会挨拶をもって18時30分に終了となった。

篠坂 幸彦

7月芦屋クラブに入れていただきました菅原です

昭和26年7月21日神戸市須磨区須磨浦通の、海岸、JR線路、自宅という絶好の避暑地に生まれ、祖父は大戦中、海軍徴用御用船の事務長、父も元海軍少尉で、たまたま船の進水式の日に生まれたもので、名前も“進”ですが、船はからっきしダメで5分以上は船酔いがして乗れません。ピアノも6歳より始めたのですが当方の就寝時間より始まる姉の下手なレッスン音が恐怖のトラウマとなり、20歳を過ぎるまでピアノアレルギーでありました。もしヴェンチャーズのエレキブームがなければ、一生音楽には無縁だったと思っております。



18歳で1回スキーに参加したのが唯一のYMCA活動履歴でした。芦屋の隣、岡本にある大学の法学部にかよっていましたが、文化クラブ活動中、たまたま来日中のコイノニアスマイル合唱団の面倒を見て下さいとYMCAから委託され、優秀な大学としての自負はありましたが、(当然英会話は全員、誰も全く無理)マネージャーとしていかに英語を使わず国際親善を行うかという難題をかかえる羽目となってしまいました。しかし腕相撲大会やダンスパーティーなど企画してみると音楽とスポーツに言葉は要らないということに気付き、大好評で終わらすことができました。全く人間、何処で自信を得るか？ わからないものです。今、何の活動歴もない当方がワイズ活動に没頭できるのか？という

と、それはYMCAの懐の深さなのだ、只今つくづく思っております。皆様、今後とも、どうかよろしくお願い致します。菅原 進

田舎ワイズの訃報に接し・・・。

19年前に、共に芦屋クラブをチャーターした戦友が7月27日に亡くなりました。

阪神淡路大震災で芦屋ローンテニスクラブのテニスコートが仮設住宅になり、交友を求めてワイズメンズクラブと知り合いました。テニスの交流は舞洲、阪神間の民間施設でのプレーを愉しみました。YMCAをサポートするワイズメンズクラブを芦屋に設立したいという思いを田舎ワイズと共有し、多くの仲間へ支持されて芦屋クラブが誕生しました。田舎さんは上野にとってテニス友達でしたが、爾来、20年近くの年月が経ちました。

近年は、田舎ワイズは病との闘いにエネルギーを使い、会員との交流はまなまりませんでした。長い闘病生活を送られましたが、最後まで芦屋ワイズメンズクラブを愛してくれました。この



写真は昨年のクリスマス例会後に3人のチャーターメンバーを中心に写真を撮りました。7月に亡くなるとは・・・・。上野と柏原書記の間に挟まれた田舎ワイズを偲びたいと思います。

上野恭男

第11回キリスト教講座「ルツ記」

「ルツ記」は興味深い登場人物とハッピーエンドで終わる物語文学の短編小説の形式をとっています。ダビデがイスラエルの王となる(BC1000年)以前の200年間の士師時代とされています。ここでの女主人公のルツは、モアブ人だがモアブの地でイスラエルの人に嫁ぎ、夫が若くして死んだ後も、“姑”ナオミのもとに留まり、共にイスラエルに渡ります。イスラエルではベツレヘムに留まり、そして“姑”ナオミの賢明な助言に従い、当時の習慣(申命記25:5~10)に基づき、亡き夫の親族である”ボアズ”と再婚し、子供をもうけて亡き夫の家の存続を果たします。この家系からやがてあの”ダビデ”が出現します。この物語によって神はイスラエルでない他の国々の人々を用いて、神様の計画をこの世界に成就させることを示すために書かれたとも言われています。

すなわち、① 神も目的は予想もしなかった形で成就される。

② 神は神に忠実な者の人生の中で働く。

③ 他者を助け、家族や友人に尽くすことは人生を変え、幸いをもたらす。

④ 神の恵みは、ユダヤ人だけではなく、全ての人に注がれる。を読む人に教えていると言えるでしょう。

ルツ記の出来事によってルツは”イエス系図”に記載されていますが、子供を得るために男性に近づくこの手管は(ルツ記3:7~13)読む者にとってややエロティックではあるけれども、”マタル(創38:14~19)”の場合ほど露骨なものではなく、むしろ牧歌的でさえあると言えるでしょう。 権 甲植 (続く)

六甲部メネット主査研修会

7月1日(土)神戸YMCA三宮新会館 1時30分~4時の親睦会ソネ 5時30分~

メネット事業主任中道京子さま(神戸クラブ)よりご案内が届きました。都度迷うことは、ウイメンの立場で出席するところのみあります。が、五十嵐かほるメネット会長のお働きで、5月に今期の日本区メネット事業「子供の貧困」に繋がるDVを観ていたことで無関心ではなかった



ことが一つ、そして、西日本区のメネット主査に男性3名、ウイメンが1名の構成に時代の変化を感じながらも出席し、良かったと思いました。Wacca 代表 茂木美智子氏・フードバンク

関西理事長 浅葉めぐみ氏の講演で物心両面から難しい問題を捉えておられました。行き先の見えない課題で少し心が疲れましたが、その後の“ソネ”でのおしゃれな企画、「JAZZとお食事」に神戸クラブメネットさまのさすがの伝統を感じさせていただきました。

上野ワイズにはJAZZ演奏を理由にご参加いただき感謝です。 柏原佳子

